

①生活排水ベストプランの概要

■生活排水ベストプラン(第4回改定)

- ・汚水処理の大枠を示したロードマップ＝汚水処理版の総合計画(県計画)。
- ・概ね5年ごとに地域の情勢等を踏まえて改定。

第2次茨城県総合計画

- 将来構想
- 計画推進の基本方針、基本計画
 - I 新しい豊かさ
 - II 新しい安心安全
 - III 新しい人材育成
 - IV 新しい夢・希望



茨城県生活排水ベストプラン

- 汚水処理の整備計画
- 汚水処理施設の管理運営計画
(広域化・共同化計画)

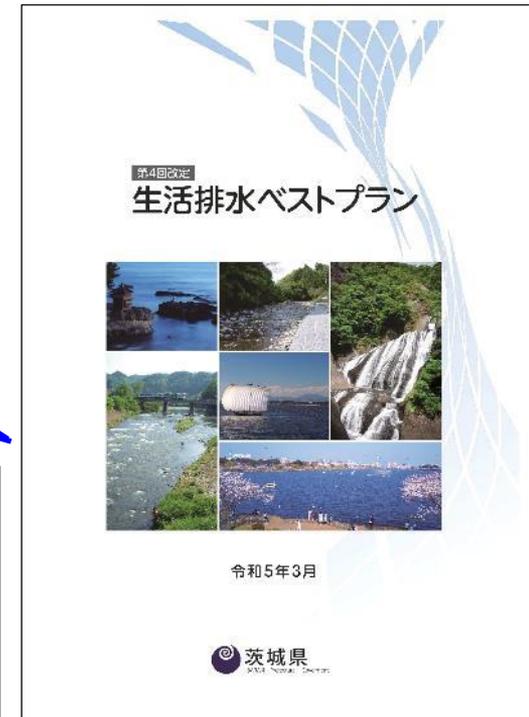
整合・
調整



各種関連計画等

流域別下水道整備総合計画
茨城県環境基本計画
湖沼水質保全計画 等

本村では、県ベストプランに則り、関連する流域の総合計画とも整合を図った上で、汚水処理に関する整備を進めます。



関連計画との関係(出典:茨城県生活排水ベストプラン)

②目標年度

- 第4回改定では、汚水処理施設の概成に向け、広域化・共同化計画を反映した目標年次を設定。

項目	目標年度	整備内容
短期計画	令和8年度 (2026年)	<ul style="list-style-type: none"> ■汚水処理人口95%の達成 ■広域化・共同化計画の「短期メニュー(R5～R9)」を反映
中期計画	令和14年度 (2032年)	<ul style="list-style-type: none"> ■今回の計画改定から10年間の整備内容 ■広域化・共同化計画の「短期メニュー」及び「中期メニュー(R10～R14)」を反映
長期計画 (整備完了)	令和34年度 (2052年)	<ul style="list-style-type: none"> ■長期的な整備・運営管理内容 ■広域化・共同化計画の「長期メニュー(R34まで)」を反映

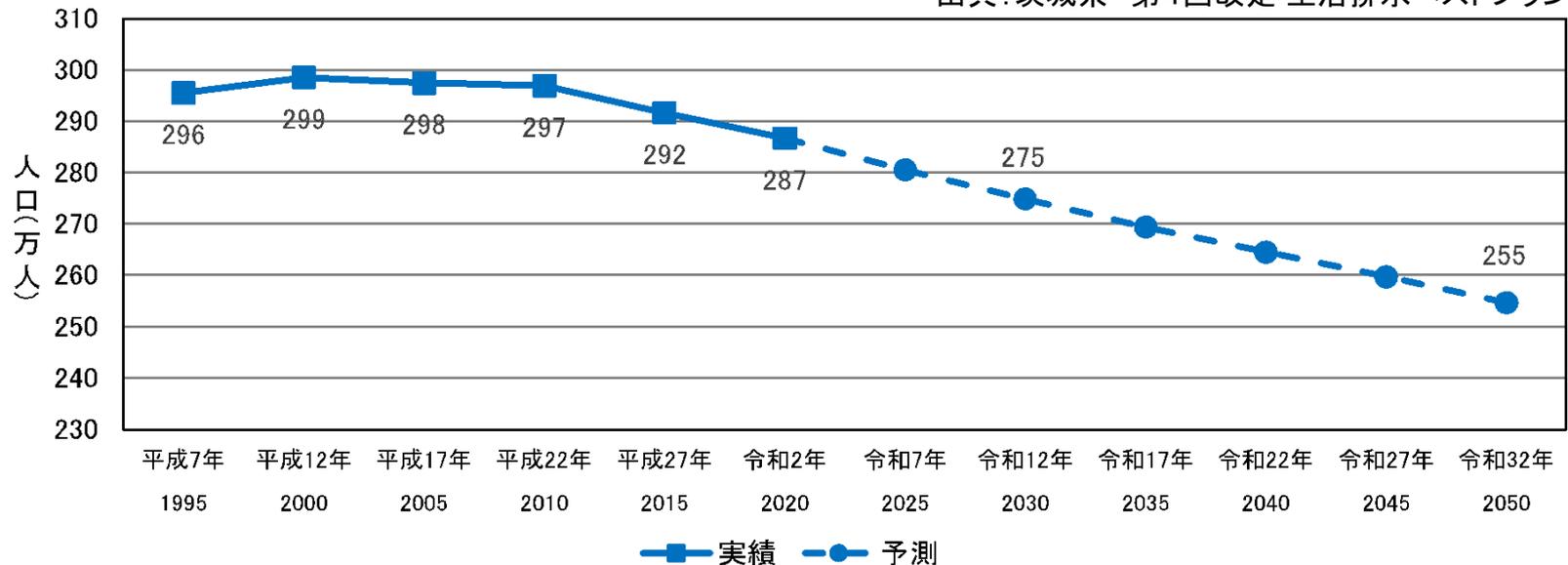
基準年:令和2年度(2020年)

③人口の推移及び今後の課題

■人口予測

平成12年の299万人以降，減少を続けており，今後も人口減少が進む傾向にある。

出典：茨城県 第4回改定 生活排水ベストプラン



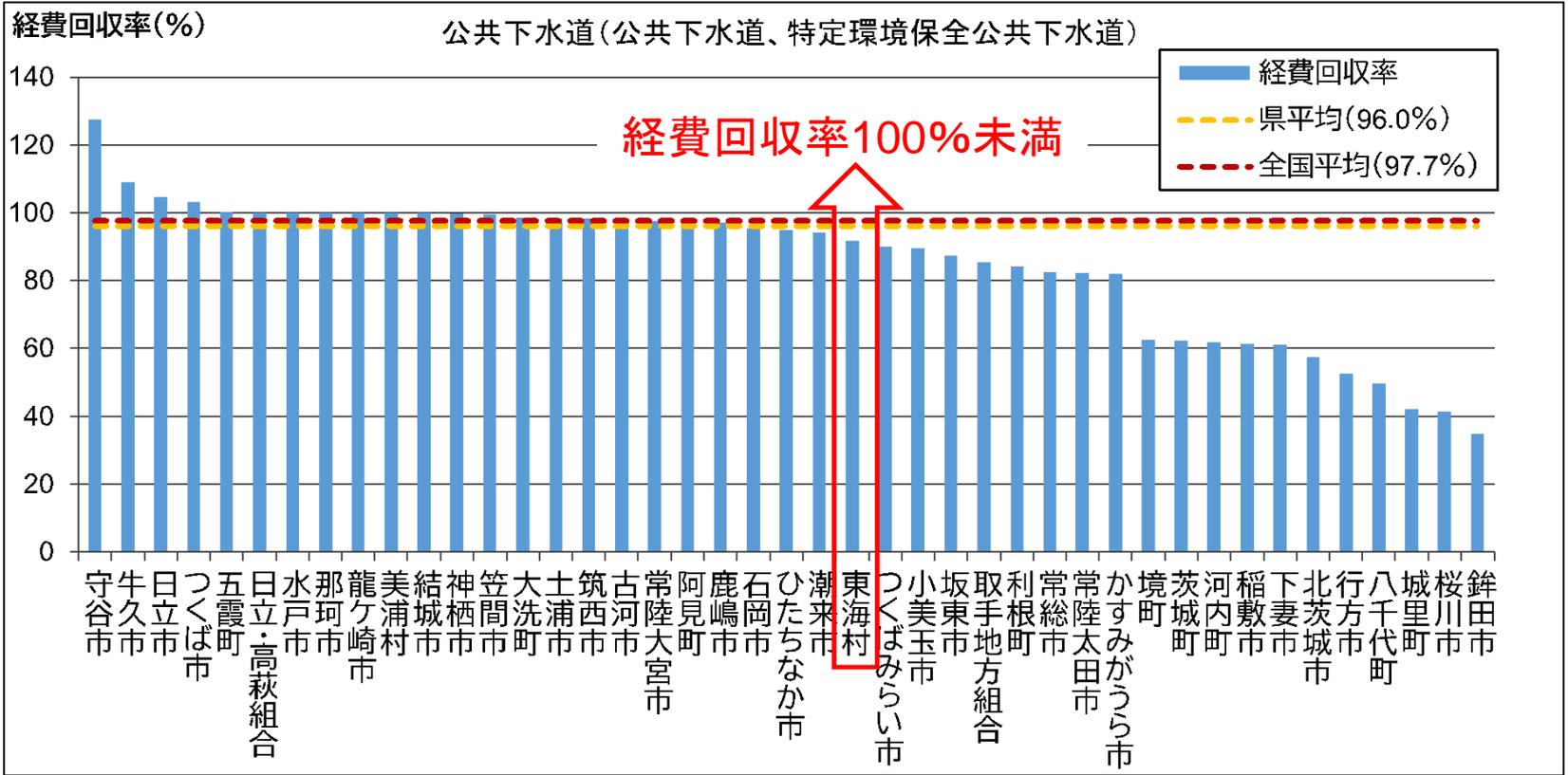
■今後，想定される課題

- ・人口減少に伴う使用料収入の減少
- ・職員数減による体制の脆弱化(技術職減の可能性あり)

④経費回収率及び今後の課題

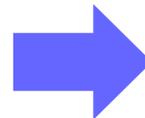
■経費回収率の現状

出典：茨城県 第4回改定 生活排水ベストプラン



■今後、想定される課題

- ・経費回収不足に伴う財政難
- ・施設老朽化に伴う維持管理費の増大



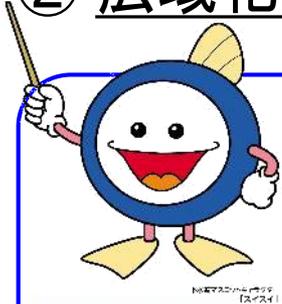
■必要となる対応

- ・事業運営の効率化
(施設の共同化)等が必要

⑤ 県ベストプラン改定のポイント

■ 主な改定内容

- ① 人口減少を考慮した未整備地区の整備手法の見直し
- ② 広域化・共同化計画(※)を基に、既存施設の統廃合を計画に反映



※広域化・共同化計画とは、県および市町村等とが連携し、施設の統廃合を考慮した、持続可能な汚水処理事業運営の実現を目的とする計画

農業集落排水施設
(市町村管理)



農業集落排水施設
(市町村管理)



下水道
流域下水道(県管理)または
公共下水道(市町村・組合管理)



し尿処理施設
(市町村・組合管理)



統合
接続管渠

統合
接続管渠

統合
接続管渠

広域化・共同化における効果

【定量的効果】

- ・改築更新費用の抑制
- ・維持管理費の削減
- ・施設稼働率の向上

【定性的効果】

- ・施設管理の負担減少
- ・長期的に運営可能な経営確立

⑥ベストプランにおける東海村の状況

- ベストプランの見直しに対し、本村の状況は下記の通りである。

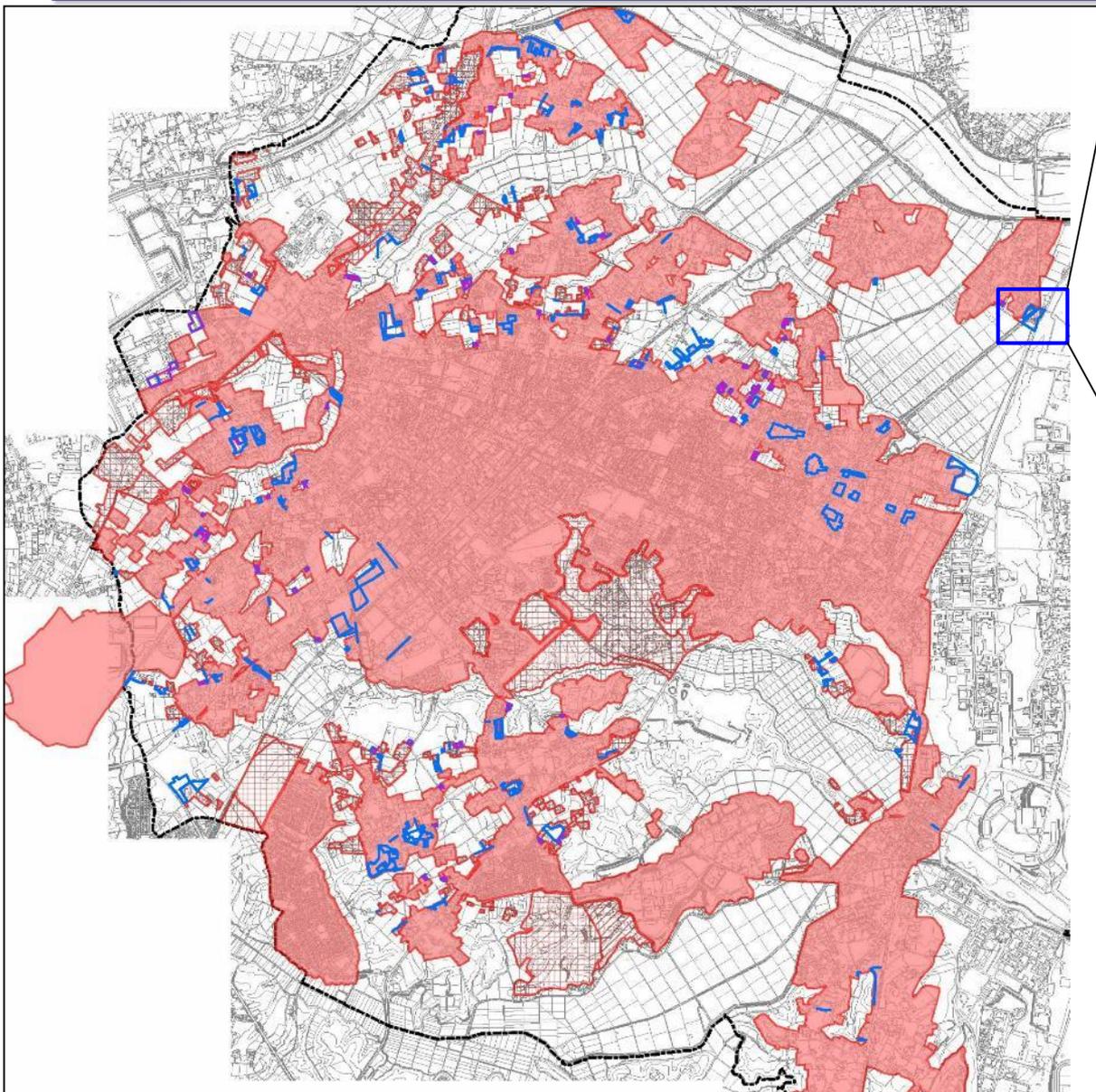
①下水道処理区域の再検討

- ・現況土地利用形態等を踏まえ、下水道接続と浄化槽設置いずれが経済的であるか判定。
- ・区域増は区域外流入，区域減は非可住地(農地等)を削除。
結果，約6.9haの区域の縮小。

②し尿処理施設と流域下水道との統廃合(広域化・共同化)

- ・東海村衛生センター(し尿)を那珂久慈浄化センター(流域)に統合する計画あり。
※現在所管課で複数の対応案を検討中

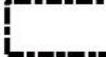
⑦ 下水道計画区域検討図



区域外流入・区域増減箇所への例



凡例

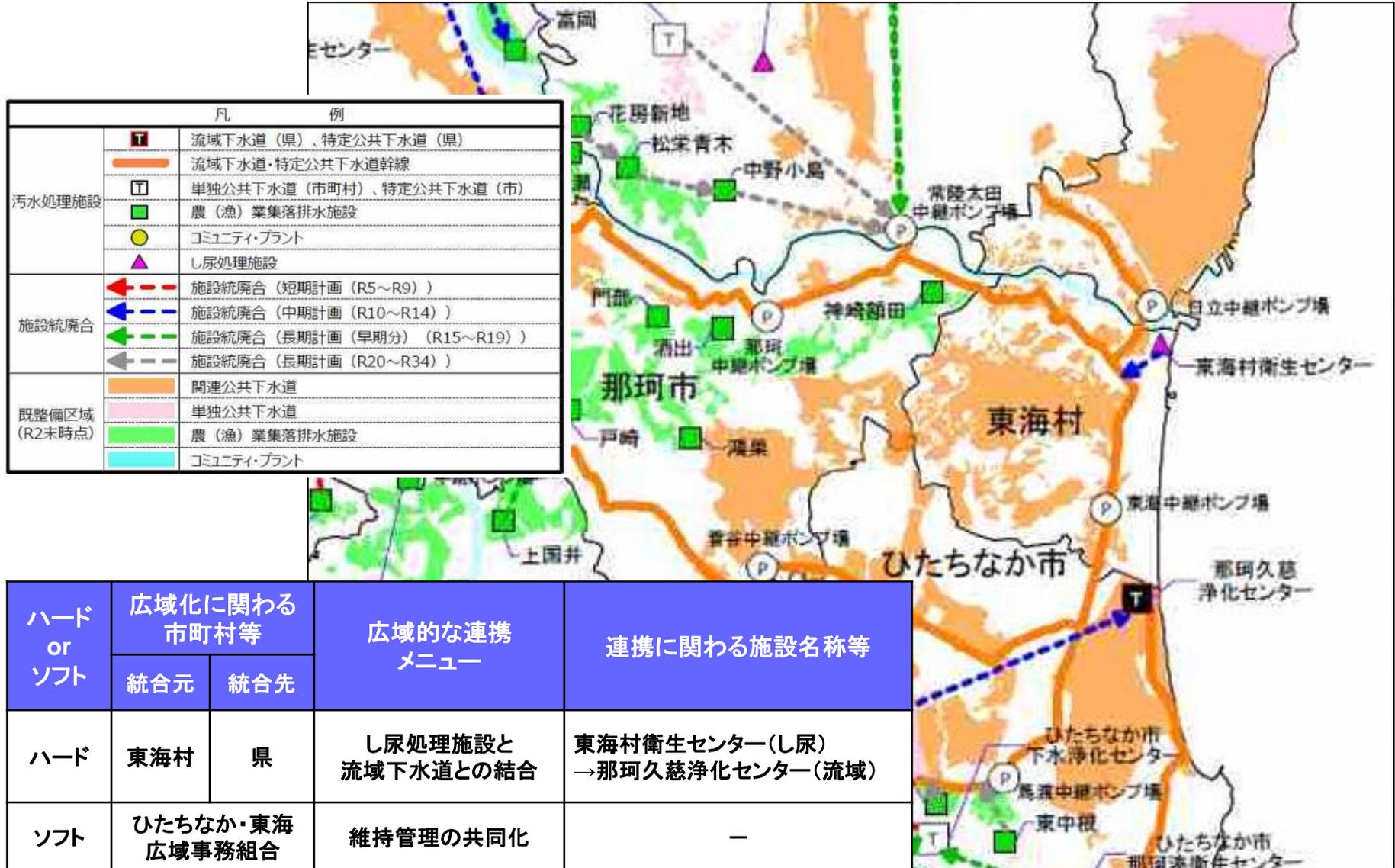
-  区域外流入箇所
-  区域増減検討箇所
- H26ベストプラン区域
-  AP(アクションプラン)
-  BP(ベストプラン)
-  既整備
-  行政界
-  東海村衛生センター

⑧下水道計画区域の新旧対照

- 下水道計画区域検討の結果、約6.9haの区域縮小。
- 下水道全体計画及び事業計画の見直しにより、法的に区域の増減を確定。

項 目			R4ベストプラン	備 考
前回ベストプラン区域	【1】	計画値(ha)	1,590.0	
今回ベストプラン区域	【2】	実測値(ha)	1,583.1	
今回－前回区域(差分)	【3】	【1】－【2】(ha)	-6.9	前回BP区域－今回BP区域

⑨広域化・共同化の状況図.



⑩汚水処理人口普及率の推移予測

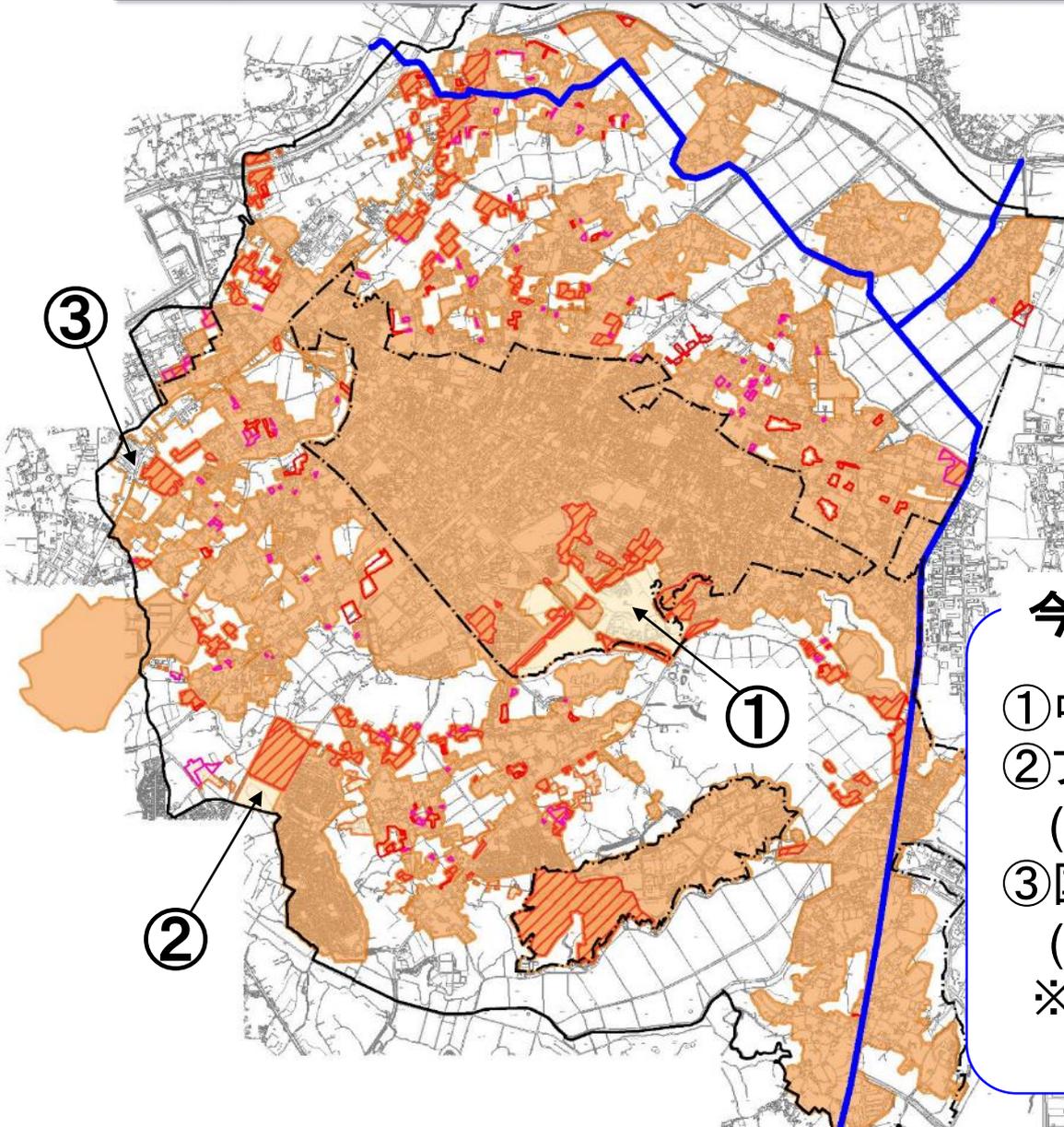
■整備計画

汚水人口普及率予測は、下記の通り。R8, R14共に 99.0%を超えており、非常に高い値となっている。長期的には、100.0%となる計画としている。

R8の短期計画目標である95%は達成見込みである。

目標年度	行政人口 (人)	汚水処理 人口 (人)	汚水処理 人口普及率 (人)	下水道		合併処理浄化槽	
				整備人口 (人)	普及率 (%)	整備人口 (人)	普及率 (%)
R8(短期)	38,030	37,779	99.3%	37,296	98.1%	483	1.2%
R14(中期)	38,156	38,116	99.9%	37,841	98.3%	275	0.7%
整備完了(長期)	39,249	39,249	100.0%	38,956	99.3%	293	0.7%

⑪ 汚水処理施設整備構想図.



凡 例			
整備事業区分	既整備区域 (H25)	アクションプラン	ベストプラン
流域関連公共下水道			
単独公共下水道 (単独特環含む)	本村は該当なし		
農・漁業集落排水事業			
コミュニティ・プラント事業			
H26～R2末 整備区域			
行政界			
市街化区域 (または用途地域)			
流域下水道幹線			
削除区域			
追加区域			

今後の主要な下水道整備箇所

- ① 中央土地区画整理事業エリア
 - ② フローレスタ須和間エリア
(住宅団地開発にあわせた整備)
 - ③ 国道6号沿道エリア
(道路拡幅事業にあわせた整備)
- ※上記については、各種事業の進捗にあわせて下水道を整備していく。